

| | | | | | |
|---|-------------------------------------|--------------|--------------------------------|--------------------|-------------|
| 開設講習名 | 【選択】高め合う集団づくりをめざす体験活動の指導 | | 講 師 | 鈴木 邦治・兼重 彰洋・小林 真一 | |
| 講習会場 | 国立山口徳地青少年自然の家 | | 会場所在地 | 山口県山口市徳地 | |
| 開 設 日 | 平成 29 年 12 月 23 日～平成 29 年 12 月 24 日 | | 時間数 | 18 時間 | 受講予定人数 40 人 |
| 受講者募集期間 | 平成 29 年 9 月 26 日～平成 29 年 10 月 4 日 | | 履修認定時期 | 平成 30 年 1 月 15 日まで | |
| 履修認定対象職種 | 教諭, 養護教諭 | 主な受講対象者 | 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭, 養護教諭 | | |
| 受講料等総額 | 20,490 円 | (うち受講料以外の経費) | 食費・シーツ代・傷害保険料等 2,490 円 | | |
| 【到達目標】 | | | | | |
| <p>子供の心身の成長における体験活動の意義について理解し、体験活動を指導する上での指導方法や安全管理について実習を通して学び、体験活動を学級経営や生徒指導に活かすことができるようになる。</p> | | | | | |
| 【講習の概要】 | | | | | |
| <p>子供の心身の成長に体験が重要な役割を持っていることを講義や実習を通して理解する。また、体験が不足しがちな現代の子供に対し、学校教育においてより効果的にかつ安全に体験活動を実施するための着眼点やプログラムの作り方を学ぶ。</p> <p>1) 現代の小・中・高校生の学力や体力、生活面における現状と課題を把握し、その課題の解決策の一つとして体験活動による指導の持つ教育的効果と重要性を理解する。</p> <p>2) 新学習指導要領における体験活動の位置づけと意味を理解する。</p> <p>3) 人間関係づくりプログラムの演習を通して、主体性やコミュニケーション能力、課題解決能力の向上などに体験活動が有効であることを実感するとともに、基本的な指導方法を習得する。</p> <p>4) 野外炊飯の自習を通して、体験活動における安全管理上の留意点やその対策について理解する。</p> <p>5) 体験活動を企画する際に、その目的に応じた内容と流れの組み立て方について講義と演習を通して理解する。</p> | | | | | |
| 【評価の方法・評価基準】 | | | | | |
| <p>評価の方法：筆記試験</p> <p>評価基準：</p> <p>合 格：講義や演習の内容を理解し、体験活動の重要性と実施する上での留意点を説明できる。</p> <p>不合格：上記以外</p> | | | | | |
| 【テキスト・参考文献】 | | | | | |
| <p>事前にテキスト(資料)を配布予定。</p> | | | | | |
| 【受講者への伝達事項】 | | | | | |
| <p>1) 野外活動ができる服装、防寒着、軍手、帽子、カッパ、筆記用具、洗面用具を準備してください。</p> <p>2) 人間関係づくりプログラムの演習の際、参加者間で身体接触をともなう活動を行うことがあります。</p> | | | | | |